
ある日の朝のネコミミメイド

南師

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある日の朝のネコミミメイド

【Nコード】

N2475M

【作者名】

南師

【あらすじ】

朝起きたら、自称俺のかわいい妹で愛される嫁なブラコンのアキが、ネコミミメイド服で立っていた。

（前書き）

制作時間、多分10分くらい。

ちょっと変なテンションで突発的に作ってしまった。

後悔しかしていない

気分を害されたなら、マジでごめんなさい

朝起きたら、ブラコンのアキがネコミミメイド服を着て立っていた。日々自分は俺のかわいい妹で愛される嫁だと主張しているアキだが、さすがにこれは初めてでメデューサに睨まれたが如く固まってしまった。

「おはようございます。お兄ちゃん」

「……………」

アキは驚いて口をパクパクさせている実の兄たる俺に向かって、声变わりのしてない高い声を響かせながらピョコピョコと近づいてきた。

3

そして、アキは俺の頬を人差し指でつつきながら

「全く、お兄ちゃんはお寝坊さんなんですから。やっぱり僕がいなくちゃだめなんですから」

そんな事をいつてきた。

全身の毛が逆立つのが感覚でわかる。

「う、あ、アキ……………」

「今日の朝ご飯は、あま〜い卵焼きと、目玉焼きと、フレンチトーストと、しょっぱい卵焼きだからね。じゃあ食卓でご飯よそってる

から、はやくきてきてね」

そう言ったアキは嬉々として俺に投げキッスをしながら、ネコミミとセツトのネコ尻尾をフリフリさせて部屋を出ていった。

俺は卵尽くしな献立とか、その姿とかを突っ込む勇気も出ずに開け放たれたままの扉を見つめていた。

すると、台所の方から母親の悲鳴が轟いた。

「ぎゃあああ！あ、明仁^{あきひと}！あんたいったいなんて格好してんのよ！！」

「あ、お母さんおはよう。朝ご飯は僕がつくつといたからね！！」

「問題がちがうでしょ！！」

……彼の名は明仁。

今年で17になった、身長178体重87の、とある男子校に通うラグビー部エースの血のつながった弟だ。

……なんでこうなったんだろ。

「明仁！いい加減にしなさい！！」

「だって！僕はお兄ちゃんと結婚したいだけだもん！！」

……俺、絶対大学入ったら一人暮らししよ。

（後書き）

気分を害された方がおられましたら、本当にごめんなさい

あと、私はBLは管轄外です

所詮ネタなので

あと、やっぱりBLタグつけた方がいいですかね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2475m/>

ある日の朝のネコミミメイド

2010年10月10日23時59分発行